

1 基本理念

「福島ならではの」の地方創生を推進  
 -「復興・再生」と「地方創生」を両輪で推進-

- ① 「ふくしまプライド。」を追求するための、一人ひとりの思いを大切に、挑戦を支える社会の実現
- ② それぞれの強みを発揮し、相互に連携・共働する社会の実現
- ③ 「ふくしま」の地で挑戦する姿を見て、自分も挑戦したくなる、人が人を呼び込む“あこがれの連鎖”を生む社会の実現

2 基本目標

- (1) 一人ひとりが輝く社会をつくる (ひと)
- (2) 魅力的で安定した仕事をつくる (しごと)
- (3) 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる (暮らし)
- (4) 新たな人の流れをつくる (人の流れ)

3 計画期間・位置付け

計画期間：5年間(令和2～6年度)  
 位置付け：「福島県総合計画」との整合を十分に図り、仕事を創り、ひとの好循環を生み出し、人口減少に歯止めをかける「地方創生」関連施策に特化した実行計画(アクションプラン)

基本目標1

一人ひとりが輝く社会をつくる(ひと)

(1) 一人一人の希望をかなえる(基本理念①、②)

○結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(結婚・出産・子育てへの切れ目のない支援)

○仕事と生活の両立の希望をかなえる

〔男女がともに仕事と家庭を両立できる環境づくりの推進、男性の育児・介護等への参加促進、多様で柔軟な働き方の普及促進 など〕

○次代を担う子ども・若者の希望をかなえる

〔子どもの人権が尊重される社会の形成、子どもたちの多様な学びの場の確保、魅力的な教育環境の整備 など〕

○誰もがいきいきと活躍できる社会環境をつくる

(年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず誰もが活躍できる社会の形成 など)



子育て支援策の充実

(2) 健やかな暮らしを支える(基本理念①、②)

○心身ともに健やかな暮らしを支える

(健康づくりの推進、保健・医療・福祉の連携促進、病気と仕事の両立支援 など)

(3) 地域を担う創造性豊かな人を育てる(基本理念①、②)

○ふるさとへの愛着・誇りを育む

〔幼い頃から地域の魅力にふれあう機会の提供、郷土愛を育む取組の推進、地域を担う人材の育成 など〕

○心豊かでたくましい人を地域全体で育てる

〔地域の主体的・自立的な地域づくりの担い手の育成、県内高等教育機関や復興知に関わる大学等による人材育成への支援 など〕

基本目標2

魅力的で安定した仕事をつくる(しごと)

(1) 活力ある地域産業を支え、育てる(基本理念①、②、③)

○未来を拓き復興をけん引する新たな産業を育てる

〔福島イノベーション・コースト構想(ロボット、エネルギー、医療分野、航空宇宙等)の具体化やICT関連産業などの育成・集積、企業誘致(本社機能、開発・研究拠点等)等による雇用の創出〕

○しなやかで力強い地域産業を育てる

(県内中小企業の振興、事業再生・承継・転換への支援 など)

○地域資源をいかした産業を振興する

(起業家の創出、観光産業の振興、6次化との連携 など)

○国内外への販路を開拓する

(連携協定等の活用、商談会参加等への支援 など)



事業承継の支援

(2) 魅力ある農林水産業を展開する(基本理念①、②、③)

○多様な担い手を育成する

〔法人・企業による安定雇用の創出、新たな担い手確保(新規就農者、農業女子等)年間を通じた雇用確保への支援 など〕

○魅力と満足度の高い農林水産物を提供する

〔品質の高い製品の生産支援、GAP認証取得の推進、消費者の志向を踏まえたストーリーのある製品づくりの推進、6次化の推進 など〕

○生産性・所得向上に向け新たな技術を活用する

(AI・IoT、ロボット等を活用した自動化・省力化によるスマート農業の推進 など)

○過疎・中山間地域における農林水産業を維持する

〔鳥獣被害の防止、景観保全、保水や水質浄化等の多面的機能の維持、耕作放棄地の発生防止 など〕

(3) 若者の定着・還流につなげる(基本理念①、②、③)

○地域産業への理解を深める

(幼い頃から地域の魅力や産業にふれる機会の創出)

○若い世代の県内への就業を促進する

(若者等の県内定着の促進、県外からの県内への還流促進)



新規就農に向けた相談会

基本目標3 暮らしの豊かさを実感できる地域をつくる(暮らし)

(1) 安全で安心な暮らしをつくる(基本理念①、②)

○多様な人が参加・連携する地域づくりを進める  
(地域に住む人それぞれが役割を持ち、生き生きと暮らせるための取組の推進)

○避難解除地域等における生活基盤を確保する

○過疎・中山間地域における生活基盤を維持・確保する  
(日々の暮らしに必要な生活基盤(交通、買い物、医療、教育等)の維持・確保 ※新たな技術も活用)

○災害に強いまちづくりを進める  
(東日本大震災の教訓の伝承、地域防災力の向上 など)

(2) ゆとりと潤いのある暮らしをつくる(基本理念①、②)

○地域の特性をいかしたゆとりある生活空間を守り、引き継ぐ  
(豊かな自然、美しい景観、地域固有の歴史、伝統文化の継承 など)

○持続可能な歩いて暮らせるまちづくりを進める  
(生活に必要な機能がコンパクトに集積し、アクセスしやすいまちづくりの推進)

○賑わいのある生活空間をつくる  
(まちなかの活性化、廃校等を活用した交流拠点の整備 など)

○文化とスポーツの振興による地域づくり  
(合唱、民俗芸能、スポーツの振興 など)



(3) 環境に優しい暮らしを支える(基本理念①、②)

○省資源、省エネルギー、再生可能エネルギーの利活用を推進する  
(環境・経済・社会の好循環につながる取組の推進、スマートコミュニティの推進 など)

基本目標4 新たな人の流れをつくる(人の流れ)

(1) 地域の多様な魅力を発信する(基本理念①、②、③)

○「福島ならではの」魅力を発信する  
(自然、歴史、伝統文化、食、温かな人柄、「チャレンジの場」としての魅力等の発信、地域資源の発掘・磨き上げによる観光コンテンツの創出 など)

○「ふくしま」で輝いている人の魅力を発信する(=あこがれの連鎖)  
(あこがれの存在となる生き方、暮らし方の発信と結びつきの強化)

(2) ふくしまへ新しい人の流れをつくる(基本理念①、②、③)

○地域の内と外とをつなぐキーパーソンを発掘・育成する  
(地域における受入れ態勢の整備への支援、地域おこし協力隊の任期満了後の活動支援 など)

○希望の暮らし方を福島で見つけられるように多面的に支援する  
(副業・兼業により地域で暮らすことのできるモデルの提示 など)

○本県と関わりのある人(関係人口)との交流促進、交流人口の拡大  
(若者等と地域との交流促進、福島県とのつながりの強化 など)

○避難解除地域等に新たな活力を呼び込む  
(新たな住民の呼び込みや交流人口の拡大 など)



【推進・検証体制】

1 施策・事業の推進

「ふくしま創生総合戦略」の理念や目標を共有し、連携・共働して取組を推進

○市町村との連携 - 県と市町村が同じ方向を向きながら取組を推進

○県民の皆さん、NPO、企業、地域づくり団体など多様な方々との連携・共働により取組を推進

○ふくしまを応援して下さる方々との連携・共働により取組を推進

2 PDCAサイクルの推進

(1) 数値目標・KPIの設定

○基本目標ごとに成果を重視した数値目標を掲げるとともに、具体的な施策ごとにKPI(重要業績評価指標)を設定し、施策の効果検証・改善を行う仕組み(PDCAサイクル)を構築

(2) 推進・検証体制

○有識者で構成される「福島県地域創生・人口減少対策有識者会議」において、戦略の達成度等を検証